

平成24年度 土浦日本大学中等教育学校自己評価票

<p>本校の目指す学校像</p>	<p>土浦日本大学学園建学の精神に基づき自主自立の気風を養い、中等普通教育及び高等普通教育並びに専門教育を一貫して教育することによって世界の平和と人類の福祉に寄与しうる人材の育成をはかり、社会に貢献することを目的とする。目的実現のため次の目標を掲げるものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 豊かな語学力を習得し、世界の人々と対話のできる日本人を目指します (2) 自分たちを育てた文化や社会を理解し日本の素晴らしさを世界に発信します (3) 複雑化した現代社会を生き抜くために、教養を磨きさらに得意分野を生かした高度な専門知識を身につけます (4) 読書、絵画、音楽等を通じて芸術や文化を愛し理解する心を磨き、みずみずしい感性を養います (5) さまざまな危機に直面する地球環境をつねに心の片隅において行動のできる人、地球にやさしい人を目指します
------------------	--

<p>本校の特長及び課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 茨城県で最初に認可された中等教育学校である。リーダーとして、たくましく活動できる『人間力』の育成 (2) 夢を実現する確かな『学力』の育成 (3) 世界に向かって発信できる『国際力』の育成 <p>◇平成24年度の教育活動及び運営の活性化のための戦略◇</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ゼロ目標の達成を通して、明るく、元気に生活できる学校環境の創出 <ul style="list-style-type: none"> ・本校から盗難紛失事案を「ゼロ」にする ・本校から中途退学者を「ゼロ」にする ・本校から授業中の怪我を「ゼロ」にする ◎品格ある生徒指導を通して、清々しい姿形の生徒を育成する教育力の創出 ◎東大を目指せ！ハーバードを目指せ！日大医学部を目指せ！ <ul style="list-style-type: none"> ・中等生の高い進路実現を確固としたものとする <p>平成24年度は上記の育成課題を念頭におき教育活動に取り組んできた。ゼロ目標の達成に関しては今一步のところであるが、1期生から続いてきた日本大学医学部への進学が今年度も達成できたことは素晴らしい成果であると自負できる。来年度も6年連続を目指して大きな目標ができた。今年度本校にとって10期生が入学してきて一つの節目に当たるが、まだまだ教員としての経験の浅い先生方が多くいるので、常に自己研鑽に取り組む姿勢を堅持し、指導力の優れた教員になるべく常に努力する姿勢を持った教員集団にすることが本校にとっての大きな課題である。</p>
------------------	--

平成24年度の取組結果

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
教育活動 (教務)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の充実 真摯で積極的な勉学姿勢の確立 授業力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 各教科の年間指導計画シラバスの立案，6年一貫教育を配慮したカリキュラム編成，生徒指導要録の記入保管，個人情報の管理などはおおむね目標を達成することができた。 Foundation Term、Academic Term、Bridging Termとそれぞれの期間における到達目標をおおむね達成できた 特に後期過程での学習への取組み結果がよかった 	B
学校生活 への配慮 (生徒指導)	<ul style="list-style-type: none"> 中等教育学校生の意識改革 好ましい人間関係の構築 学校行事，クラブ活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶する生徒が多いこと，徒歩・自転車通学者の登下校の交通マナー，整然たる駐輪場などはおおいに評価できる。 年間指導計画と基本的生活習慣についての共通理解を更に深めなければならない。 頭髪服装指導及び盗難撲滅に向けての指導を更に継続する。 	B

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
生徒会・ 部活動	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動の活性化 委員会活動の活発化と生徒意見の反映 学校行事，クラブ活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 各種学校行事における委員会所属生徒の顕著な活動が目立った 全体集会での表彰などで生徒の活躍があった。新入生に対する上級生の指導が良かった 生徒会と各委員会の所属生徒の学校に対する献身的な協力姿勢には素晴らしいものがある 放課後の部活動が活性化してきたのは非常に頼もしい傾向である 	B
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 望ましい職業観の育成 進路適正の自得指導 積極的な進路指導 	<ul style="list-style-type: none"> 土浦日大高校の学校行事であった「日大出張講義」「法曹界講話」への参加により職業観の育成に効果があった 高大連携教育が強化され，望ましい進路選択を後押しする一助になっている 土浦日大高校の進路企画に準じて実施できた 	B

保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> 適切な健康診断の実施 健康管理への配慮 教育相談の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断，教育相談体制は全校的にきちんと実施されている 常駐しているカウンセラーと学年・担任がタイアップして問題生徒への取組みが充実した 保健室を核に教育相談が充実した 	A
図書	<ul style="list-style-type: none"> 読書案内の充実 図書館活用率の向上 図書委員活動の活発化 	<ul style="list-style-type: none"> CPC のスペースを利用し、総合学習の調べ学習を事前に資料を準備し効率的に支援できた。 展示書架の入れ替えやテーマ別コーナーの設置など読書意欲を高めるために工夫した 利用生徒数及び貸し出し数が増加した。 図書館利用のマナーの更なる向上を目指す 	B
広報	<ul style="list-style-type: none"> 教育目標，理念，特色の周知 塾や小学校との連携 ホームページなどでの広報強化 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の主だった塾を中心に、訪問回数を増やし本校の広報につとめた 地区別入学状況を精査し、小学校の訪問回数を増やすなどいい関係が構築できた。 ホームページは毎日更新し本校の広報に大きく貢献した 小学校・塾との信頼関係及び連携を更に強化する 	B

評価項目	取組目標	取組結果	達成状況
管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 教育方針の浸透 会議の活性化 校務分掌機能の円滑化 教員研修の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 第五期生が見事な進路実績を打ち立ててくれたことで近隣地域の本校への関心度がアップしている 中等教育学校（6年間の一貫教育）をもっとアピールし本校の教育方針を浸透させたい 教職員の資質向上のための自主的研修参加の奨励が図られている。 教員の授業力アップを目指し、年2回（春秋）授業参観週間・研究授業週間を設置し、資質向上を目指す 若い教員が多いので、校内研修会の回数を増やして実施し、実務的な研修を実施していく 	B

庶務	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父母組織の円滑化 ・ 防災，環境美化の推進 ・ 奨学金手続きの円滑化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 父母の協力姿勢を受け、学校に役立つ父母組織の円滑化に取り組む ・ 避難訓練は適切に実施され、実践的な問題点や改善点を整理し次に繋げている ・ 本校でも奨学金に依存したい家庭が増えたので部内において奨学金のシステムの周知徹底を図る ・ 入学式や卒業式等式典の準備，進行が前年度実施結果の見直しにより適切に実施できた ・ 校内美化活動や施設設備，用具の適正な配置が実施できている 	B
学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年クラス目標の浸透と経営総括の共有化 ・ 学年間連携協力体制の強化 ・ 保護者との連携強化 ・ 進路実績の飛躍向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前期課程、後期課程共におおむね年間目標を達成することができた ・ 学年を超えての協力体制も徐々に確立しつつあるので良い傾向が見られる ・ クレームをつける保護者が激減し、担任・学年団と保護者の連携もうまく進行している ・ 第五期生の驚異的な進路実績獲得 日本大学医学部5年連続合格、歯学部・松戸歯学部5名合格、他日大に44名合格、早稲田、慶応、上智、理科大へ13名の合格者が出た、学習院、明治、青山、立教、中央、法政等に22名合格、筑波大3名、東京医科歯科大1名、千葉大2名、茨城大1名、岩手大1名、信州大1名、高崎経済大1名、海外大学8名、他の私大68名の合格者が出た。5期生103名卒業した中で、現在進路未決定者は9名である <p>※今年度は、過年度生（1期生～4期生）で進学浪人をしていた25名が難関国立大学を始め、多くのいわゆる有名私大に合格した。</p>	B

達成状況評価基準	A	取組目標が十分達成された	「よくできている」「できている」割合が90%以上
	B	概ね達成された	「よくできている」「できている」割合が80%以上
	C	課題を多く残している	「よくできている」「できている」割合が70%以上
	D	成果が出ていない	「よくできている」「できている」割合が70%未満